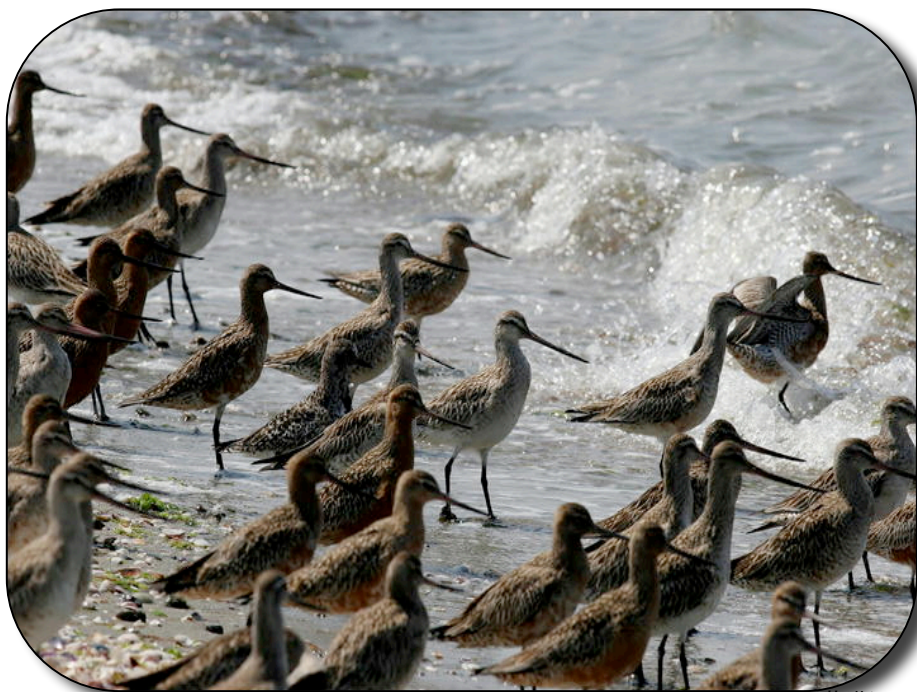


『湿地のグリーンウェイブ2016』参加

春の荒尾干潟探鳥会



春の干潟のオオソリハシシギ 西村 誠(蔵満)

と き:4月10日(日)

じかん:午前10時開会～12時

ところ:荒尾市蔵満の海岸

日本野鳥の会熊本県支部 湿地のグリーンウェイブ 2016

2016年のテーマ「参加して知ろう！湿地の豊かさー保全へのスタートー」
「湿地のグリーンウェイブ」は、国際生物多様性の日(5月22日)を中心とする4月～6月に、全国各地の団体が自然観察会、生き物調査、田植え、シンポジウムなどの活動を連携して実施し、それらの活動を束ねてグリーンウェイブに参加しています。

そこで、ラムサールネットワーク日本(ラムネット-J)の「湿地のグリーンウェイブ 2016」は、みなさまの地域での活動をより強力にアピールし、誰もが湿地の生物多様性保全のための行動をとれる年にしようと、テーマを「参加して知ろう！湿地の豊かさー保全へのスタートー」と決め、さらに多くの見雅なの参加を募集しています。「ラムサールネットワーク日本」HP

本日は、探鳥会後に海岸のごみ拾い、清掃作業をしますのご協力ください。

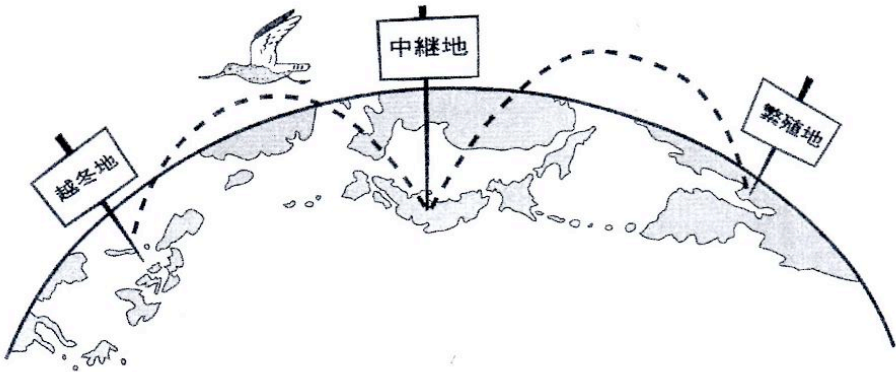
今日 見たい鳥はオオソリハシシギ

【生息分布】日本各地やシベリア北部、東南アジア、オセアニア、ヨーロッパ南部、アフリカ大陸西部など。【繁殖地】はシベリア北部など。【生息環境】日本には旅鳥として干潟や入江などに渡来するが、荒尾干潟には春の渡りの時期に400羽～600羽が見られる。【食性】干潟の泥の中にくちばしを入れ、穴の中に潜むカニやゴカイを捕食している。



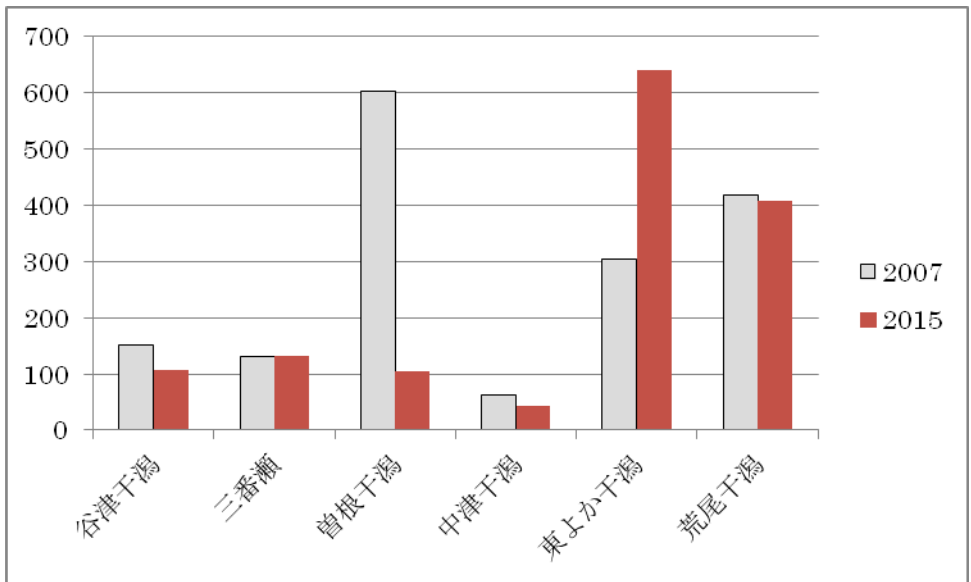
シギ・チドリ類には3つの生息地が必要です

繁殖地、越冬地、中継地のどれか一つでも破壊されると、代わりとなる場所をすぐさま見つける順応性は持っておらず、また時間的猶予もないのが実際です。このうち、どれかひとつが欠けても、渡りは成功しません。



主な干潟のオオソリハシシギ春の渡り最大個体数・10年前と比較

	谷津干潟	三番瀬	曽根干潟	中津干潟	東よか干潟	荒尾干潟	全国総計
2007	151	130	603	63	305	419	1696
2015	108	133	104	44	640	407	2107



環境省・モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査 バードリサーチまとめ

今日はどんな鳥を見ましたか

	鳥の名前		鳥の名前		鳥の名前
1	○ カワウ	19	○ ソリハシシギ	37	○ ヒヨドリ
2	○ ダイサギ	20	○ オオソリハシシギ	38	○ モズ
3	○ コサギ	21	チュウシャクシギ	39	○ ウグイス
4	○ アオサギ	22	○ ユリカモメ	40	エナガ
5	○ カルガモ	23	○ セグロカモメ	41	○ シジュウカラ
6	○ ウミアイサ	24	○ カモメ	42	メジロ
7	ミサゴ	25	○ ウミネコ	43	○ ホオジロ
8	○ シロチドリ	26	○ ズグロカモメ	44	○ アトリ
9	○ メダイチドリ	27	○ ホイグリンカモメ	45	○ カワラヒワ
10	○ ダイゼン	28	コアジサシ	46	○ スズメ
11	○ キョウジョシギ	29	○ キジバト	47	○ ムクドリ
12	○ トウネン	30	○ アオバト	48	○ カササギ
13	○ ハマシギ	31	コゲラ	49	○ ハシボソガラス
14	○ オバシギ	32	○ ヒバリ	50	○ ハシブトガラス
15	○ ミユビシギ	33	○ ツバメ	51	○ カワラバト
16	○ アオアシシギ	34	○ ハクセキレイ	52	ガビチョウ
17	○ キアシシギ	35	○ キセキレイ	53	
18	○ イソシギ	36	○ ビンズイ		40 種

【これからの主なイベント】

- ◆4月23日(土)荒尾干潟ガイド養成講座 午前10時 蔵満の海岸
- ◆4月25日(月)、働く婦人の家『エポック』主催の荒尾干潟探鳥会 午前10時
- ◆5月8日(日)、『世界渡り鳥の日』参加行事。
春の渡りのシギ・チドリを観察しよう 午前10時 蔵満の海岸
主催:エコパートナーあらお市民会議、協力:日本野鳥の会熊本県支部
- ◆5月15日(日)バードウィーク 荒尾市・小岱山探鳥会 集合:午前9時
夏の鳥 キビタキ、オオルリ、ホトギス 場所:小代焼ふもと窯
主催:日本野鳥の会熊本県支部
- ◆6月10日(金)～14日(火)、「野鳥の採餌風景」写真展
『国際生物多様性の日』参加行事。
場所:あらおシティモール「であいの広場」
主催:日本野鳥の会熊本県支部
- ◆7月 日、
『荒尾干潟の日』記念イベント
主催:荒尾市
- ◆9月4日(日)「世界シギ・チドリ類の日」荒尾干潟探鳥会 午前9時集合、